土岐（とき）・運（めぐり）・来（きたる）

会報「土岐・運・来」第 34 号
発行　自然・馬・人の会
発行日　2007 年 10 月 7 日
正会員　６４家族
協力会員　３０家族
賛助会員　１家族

友だちの紹介で参加する家族、おじいちゃんに続いて孫が参加する家族

息子が乗馬会に参加させていただくようになって二年半になります。きっかけは友人からの誘いでした。

障害ゆえ、習い事などさせることが難しい息子ですが、家庭や学校以外にも楽しめる場所があれば、と思っていたので、会の事を知り、とても嬉しかったです。最初はヘルメットをかぶるのが嫌で大騒ぎ（かぶりものは苦手）、でもそんな息子をスタッフの皆さんが暖かく見守ってくださり、回を重ねるごとに、それなりに様になってきました。月に一度の乗馬会は息子だけでなく、親にとっても「日差しが強くなってきたな」「風が冷たくなってきたな」と季節を感じられる楽しい一時です。

今はまだ馬に乗るだけですが、少しずつお手伝いできるようになれればと思っていますので、末永くよろしくお願いいたします。

平塚市　壮の母

自然・馬・人の会に入会させて頂き２年数ヶ月経過しました

私は、網膜色素変性症で、中途失明となり、現在では、光覚と言う状態ですが視覚障害のハンディを乗り越えて障害の有無にかかわらず、馬と触れ合う喜びを分かち合いたいと言う気持ちで、一昨年の４月に、入会させて頂きました。　高所恐怖症の私には、最初は怖さでどきどきの状態でスタートしたのですが、多くのボランティアさんの優しさと、気配りで、歩くだけでも怖かったのが、今では、走るのが楽しみになっています。　勝手ながら、微々たる向上をしているのかなと思い、皆さんに感謝の気持ちで毎月一回の乗馬の日を楽しみにしています。　また時々、紅葉台の方にも行って、いつもとは違った環境での乗馬の空間を楽しんでいます。

実際馬に乗って思うことですが、体全体の、柔軟性や、平衡バランス、コントロールを得られますし、私にとっては最大の楽しみです。　最近では、外出先のデパートや病院でも私は馬の会の誰々ですと声をかけられ、とても嬉しく感じています。　そんなわけで、先日かわいい孫「日菜」ちゃんも入会しましたので、私ともどもよろしくお願いいたします。

小田原市風祭　　長澤幸男

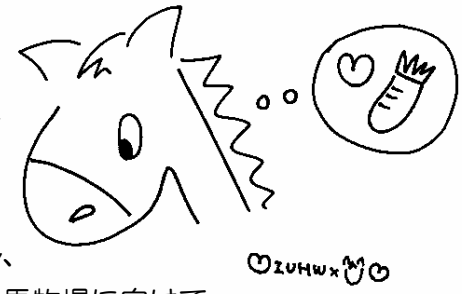
乗馬会当日だけでなく、自然の中での乗馬研修もあります。

昨年四月から乗馬会に入会をしました。いつも最後に、人参をあげて、ありがとうと言って帰ってましたが、少しでも馬の事がわかればと思い七月乗馬会当日の研修に参加しました。実際馬にのり、馬が乗せにくい姿勢や、乗せやすい姿勢があることを知りました。一緒に参加している子供は、人と目を合わす事が苦手な自閉症児なので、私は誰でも、動物でも、目を見て話すように心がけていましたが、馬は目をみつめては行けない事を知り、間違った扱いをしてたことがわかりよかったと思いました。機会があれば次回参加したいと思います。　　大井町 佐藤

今回、初めて研修を申し込んだのは、いつも見ている乗馬の事を知りたいと思ったからでした。最初に馬や馬具について話しを聞き、次に実際に馬に乗ってみました。

乗ってみると目線高くなり、揺れも大きく、動き出した時は、小さくですが、「うわー」と声を出してしまいました。私の子供は、本来は動物が苦手で、又、慎重な性格なので、ちょっとでも怖い事は、やれる様になるまでが、大変なのですが、何故か乗馬は大好きで、毎回背筋を伸ばして、しっかりと乗っていたので、楽しいんだなと感じていましたが今回、自分が馬に乗ってみた事で、我が子の事を見直してしまいました。何事も思い込みは、いけませんね。次回からの乗馬は、今回の研修の事を考えながら子供の様子を見ていきたいと思います。　　大井町 ＮＭ

道草を食う馬に乗って　～紅葉台木曽馬牧場の研修報告～



７月29日（日）の朝８時。小田急線栢山駅に二宮さん、安井さん、ひとみさん、露木さん、私（秋元）の５人が集合し、二宮さんの車で紅葉台木曽馬牧場に向けて出発しました。２時間弱で牧場に到着し、中村さんと合流。準備ができたところで研修開始です。

午前中は馬装とひき馬の練習です。炎天下でも元気な中村さんが、馬になりきる実演を交えながら熱心に教えてくれました。

午後は初心者組と経験者組に分かれ、牧場のお兄さんの先導のもと、馬に乗って場外へでかけました。牧場の外には美味しそうな青い草。牧場のお兄さんが「〇〇ちゃん（馬）が草を狙っています。気を付けて！」と声をかけてくれます。しかし、私の参加した初心者組は「気を付ける術」に長けておらず、道草を食う馬とのんびりと散歩をしたのでした。

小田原とはひと味違う馬の姿に接し、初めて一人で馬に乗り、新鮮でとても楽しい研修でした。

秋元潤子

小田原にできた大学からも参加してくれるようになりました。

こんにちは。国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科１年の４人組です。

今年から毎日小田原城を眺めつつ、ＰＴになるべく勉強しています。理学療法士＝ＰＴとは、身体に障害があるひとに対し、日常生活における基本的動作の回復を手伝う職業です。

この会には障害者の生活の向上を図るという点、また馬という動物を通して障害者とつながりを持てるという点において非常に興味を持ったので、７月の活動から参加させていただいています。

はじめのうちは馬の扱い方や子供たちとのコミュニケーションのとり方などに戸惑うばかりでした。　あまりにも自分たちが無力すぎるので、積極的に動くことも出来ませんでした。　しかし、そんな私たちにも子供たちは無邪気にも笑いかけてくれ、次第に緊張感が解けていくのがわかりました。

笑顔に人を励ます力があることを改めて実感し、私たちも周りのひとにそんな笑顔をあげれるようになりたいと思いました。

これからの大学での勉強を活かして、私たちにしか出来ないような形でボランティアに貢献していきたいと思います。今後もよろしくお願いします。

みんなそれぞれに会の活動を楽しんでいる様子が伝わったでしょうか？

まだ会報に文章を書いていない人、書いたことはあるけれどまだまだ書き足りない人、大歓迎です。いつでも原稿をお送りください。また、原稿をお願いした時は気持ちよく受けてくださいね。

サドルバックの高橋さんによるしばらくぶりの馬の紹介です

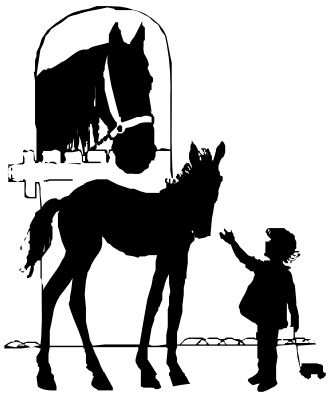
「つくし」　木曽馬　H3、3/1　　生まれ　牝

初心者乗馬の母？的存在。　性格は温厚だが、繊細なところがあり環境の変化や突然の出来事に動揺してしまうところがあるが、それを理解し環境さえ整えてあげれば、安定さで一番の存在です。

体のバランス的には前身に重心がある為前足がつまづき易いので騎乗の際は後ろに体重残す感じで乗るようにしたらつくしも楽です。また、引き馬の時に引き手の人は、つまづきを想定し引き綱をいつでも引き上げられるような気持ちでいると万が一のときの対応がし易いです。

「チャマ」　ウエリッシュポニー　H9、5/3　生まれ　セン

ビジュアル的に一番の人気？気が小さいが悪戯なところがあり、可愛がってばかりだと運動能力もあるし、すぐになめられてしまうので気をつけて…。　北海道恵庭の牧場で生まれた時から、牧場の奥さんに子犬の様に可愛がられて育っていた（雌馬に仕立てられ？てリボンまで付けられていた？）なので、ちょっぴり悪戯だけど人は大好きです。　とにかくなめられないように…、でも脅してビクビクさせないように。がポイントですかね。



お願い

私達の会の運営は皆さんの会費だけではなく、助成金、寄付金を得ることによって１０年間続けることができました。今年は去年までの大口の助成金が得られなくなり、このままですと会費・研修費の大幅な値上げをしなければいけません。助成金・補助金情報をお知らせください。

定期乗馬会の予定
１１月４日（日）
１２月２日（日）

後援：小田原市
助成・寄付等：ともしび基金果実事業・
富士ゼロックス端数クラブ・
㈱富士ゼロックス・
日本スポーツカード協会

「自然・馬・人の会」会長桜井広利
〒250-0045　小田原市城山１－３－２２
TEL0465-32-1308　FAX0465-32-1332
E-mail　na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)
HP　http://shizen-uma-hitonokai.la.coocan.jp